

公益社団法人 日本オーケストラ連盟  
**平成25年(2013年)度 事業報告**

第2期(通算第19回)平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

**(A) 交響楽に関する調査研究及び資料、情報の収集**

**1. 「日本のプロフェッショナル・オーケストラ年鑑 2013」を刊行した。**

文化庁委託事業「平成25年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」として3,000冊を刊行した。関係先に配布したほか、全国の主たる図書館、大学、公立文化施設などに無料で配布した。また、ホームページでも公開した。

**2. 各種レポートを発行した。**

- i. 「アジア・太平洋地域オーケストラ連盟 第10回オーケストラ・サミット in ムンバイ」報告書
- ii. ロンドン交響楽団ジェネラルマネジャーとの懇談会報告書  
報告書はホームページで公開し、「日本オーケストラ連盟ニュース」にも要旨を掲載し全国の主たる図書館、大学、公立文化施設などに無料配布し広く公開した。

**3. ステージマネジャー会議、ライブラリアン会議を開催した。**

- i. ステージマネジャー会議 8月13日(火)(川崎)  
ミューザ川崎シンフォニーホール
- ii. ライブラリアン会議 8月14日(水)(京都)京都市交響楽団・練習場  
加盟のオーケストラのほか、全国のホール関係者、楽器店、楽譜出版社などが一堂に会して、演奏活動の進展に寄与するよう討議した。

**(B) 交響楽振興のための公演及び講習会等の開催**

**1. 「オーケストラの日 2014」のイベントを実施した。**

オーケストラの普及、浸透を図るため3月31日を「オーケストラの日」として、この日を中心にその前後で加盟するオーケストラが多様な取り組みをした。

○地方オーケストラは20のオーケストラが演奏会、イベントなどを展開し、総入場者数は約15,000名であった。

○首都圏12楽団は「オーケストラの日祝祭管弦楽団」を編成した演奏会のほかロビーでは様々なイベントを展開しオーケストラ活動をアピールした。

会場：文京シビックホール ・延べ総入場者、参加者数 約2,500名

共催：文京シビックホール(公益財団法人文京アカデミー)

助成：日本音楽財団(日本財団助成事業)、公益財団法人朝日新聞文化財団

特別協力：ブリティッシュ・カウンシル

協力：松尾楽器商会、ヤマハミュージックジャパン

## 2. 文化庁からの委託により「アジア オーケストラ ウィーク」を制作した。

文化庁芸術祭主催公演の一環として開催された事業で、アジア諸国からプロのオーケストラを招聘し、個性豊かな演奏の競演を実現し、我が国とアジア諸国における文化交流を促進した。

10月5日（土） マニラ・フィルハーモニー管弦楽団（フィリピン）

6日（日） サザン・シンフォニア（ニュージーランド）

7日（月） 山形交響楽団

会場：東京オペラシティコンサートホール

8日（火） 山形交響楽団、サザン・シンフォニア 合同演奏会

会場：盛岡市民文化ホール（岩手）

・入場者数	東京公演	5日	977名
		6日	1,005名
		7日	1,096名
	盛岡公演	8日	587名
総入場者数			3,665名

## 3. 講習会、セミナー等の開催

i. シンポジウム「オーケストラがやってきた！～その先へ」を開催した。

8月29日（木） 東京芸術劇場 5階ホワイエ 参加者64名

開催報告の要旨を「日本オーケストラ連盟ニュース」に掲載した。

## 4. インターンシップの推進

当連盟が窓口となり、音楽大学を中心に一般の大学からもアートマネジメントなどを学ぶ学生を募集して16名を受け、うち13名を加盟のオーケストラ9団体に紹介しまた連盟事務局でも受け入れて人材育成に積極的に取組んだ。

## 5. その他の活動

i. 日本音楽芸術マネジメント学会への参加

音楽芸術の振興や保護に係わるマネジメントや教育、政策に関する研究会、発表会などに参加した。

ii. アフィニス文化財団が開催する「アフィニス夏の音楽祭」に協力した。

8月18日（日）～25日（日） 広島

ホスト・オーケストラ：広島交響楽団

iii. 文化庁新進芸術家海外研修制度に協力した。

文化庁からの依頼により新進芸術家海外研修員の音楽分野の応募のとりまとめを行った。

## (C) 青少年に対する交響楽の普及

### 1. 東日本大震災復興支援

i. 東日本大震災の被災地の学校や仮設住宅などに加盟するオーケストラから楽員を派遣してコンサートなどを実施し心の復興に取り組んだ。

・ 9月14日（土）大槌町、15日（日）釜石市

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団による室内楽

・ 9月16日（月・祝）陸前高田市 広島交響楽団による室内楽

・ 2014年（平成26年）2月21日（金）石巻市

札幌交響楽団による室内楽

ii. 震災によりやむなく統合、閉校となる学校の校歌をオーケストラ演奏で残そうという「心のランドマーク」計画に賛同し、加盟オーケストラ19楽団がボランティアで20校の校歌の収録に協力し、オーケストラ演奏と歌唱付きのCDを製作して東松島市、女川町、石巻市の各教育委員会に寄贈した。このCDは国会図書館はじめ全国の主要な図書館に置き、またホームページでも公開して試聴できるようにした。

### 2. 東京都が主催する「子どもたちと芸術家の出あう街」の制作に協力した。

2014年（平成26年）3月2日（日）東京芸術劇場

企画・演奏：日本フィルハーモニー交響楽団

・事前アウトリーチ 参加者 2,310名

・当日ワークショップ 参加者 348名

・ロビーイベント 入場者 499名

・演奏会 入場者 1,253名

延べ総入場者、参加者数 4,410名

## (D) 交響楽に関する国際交流

### 1. 海外のオーケストラ連盟等との交流と情報収集を行った。

「アジア オーケストラ ウィーク」に招聘したマニラ・フィルハーモニー管弦楽団、サザン・シンフォニアと現地での事前の打合せ時および来日時に懇談し情報交換をした。

6月6日（木）～10日（月） ニュージーランド・ダニーデン

6月21日（金）～24日（月） フィリピン・マニラ

### 2. 「アジア・太平洋地域オーケストラ連盟（AAPRO）理事会」に参加した。

6月28日（金）台湾国立劇場・国際会議場（台北）

・日本オーケストラ連盟からの参加者

国際部委員長 坂田誠一郎（読売日本交響楽団）

名倉真紀（AAPRO事務局長）

### 3. 「アジア・太平洋地域オーケストラ連盟（AAPRO）第10回オーケストラ・サミット」に参加した。

9月19日（金）～ 22日（日） インド・ムンバイ

会場：国立舞台芸術センター

15の国と地域から59名が参加し開催された。

・日本オーケストラ連盟関係の参加者

国際部委員長 坂田誠一郎（読売日本交響楽団）

新井 淨（東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団）

柿塚拓真（日本センチュリー交響楽団）

梶川純子（東京交響楽団）

富樫尚代（日本フィルハーモニー交響楽団）

野崎明宏（フリー）

事務局 桑原 浩

名倉真紀

### 4. 「英国オーケストラ連盟 年次総会」に参加した。

2014年1月29日（水）～ 31日（金） イギリス・ロンドン

会場：セント・ルークス、バービカンセンター

イギリス国内の関係者を中心に世界から368名が参加して開催された。

・日本オーケストラ連盟からの参加者

国際部委員 大野順二（東京交響楽団）

事務局 名倉真紀

会議の要旨は「日本オーケストラ連盟ニュース」に掲載した。

### 5. 国際交流基金「ASEANオーケストラ支援事業」に協力した。

ASEAN各国のオーケストラに、日本からシニア楽員を派遣し指導して、レベルアップを図る事業。

吉井実行・事務局長が現地調査に同行し協力した。

2014年1月13日（月）～16日（木） タイ・バンコック

#### (E) その他目的を達成するために必要な事業

##### 1. 「日本オーケストラ連盟ニュース」を発行した。

年3回 7月に第84号、12月に第85号、3月に第86号を発行した。

各号 9,000部。

会員オーケストラのみならず全国の主たる図書館や音楽大学などに広く無料配布した。また、ホームページでも公開した。

## 2. 政府、国会への働きかけ

他の実演芸術団体と共に、自主的な活動を助成する助成制度に改革する活動と芸術分野の特徴に沿った助成制度の開発と助成予算の充実を目指す活動を行った。

また、文化芸術の振興を国家戦略の基本に位置づけるよう「文化芸術立国」の実現に向けて「文化省」の創設を求める活動を行った。

## 3. 他の実演芸術団体等との連携

芸術家会議、日本芸能実演家団体協議会（芸団協）、文化芸術推進フォーラムの一員として他の芸術団体などとも連携を図り、健全な文化芸術活動やオーケストラ運営ができる環境整備と充実に努めた。

### (F) その他の事業（相互扶助等事業）

#### 1. 著作権代行事業

一般社団法人日本音楽著作権協会（JASRAC）との協定による、加盟オーケストラの使用する管理著作物の包括的申請と使用料の一括徴収と支払を行った。

#### 2. 共同広告事業

朝日新聞「音楽情報」欄へ加盟会員オーケストラが出稿する広告料金の一括徴収、支払を行う事業。今年度の広告の出稿はなかった。

#### 3. 互助会事業

加盟会員オーケストラの楽員や職員が病気や怪我で3ヶ月以上活躍できなかつたとき無利息で貸付する制度。今年度の利用者はなかった。

### <会議の開催>

#### ○理事会 平成25年度 計3回

第1回 6月14日（金）（東京） NHK青山荘

第2回 8月8日（木）（決議の省略による）

第3回 2月24日（月）（東京） NHK青山荘

#### ○総会 計1回

平成25年度定時総会 6月14日（金）（東京） NHK青山荘

#### ○地方オーケストラ連絡会／首都圏オーケストラ連絡会「合同会議」計3回・4日間

6月14日（金）（東京） NHK青山荘

8月20日（火）、21日（水）（広島） アステールプラザ

2月24日（月）（東京） NHK青山荘

#### ○運営委員会 第172回 ～ 第180回、臨時 1回。 計10回

4月16日（火）、5月21日（火）、6月13日・臨時（木）、7月24日（水）、

9月11日(水)、10月21日(月)、11月26日(火)、12月10日(火)、  
1月29日(水)、3月27日(木)

運営委員：宮澤敏夫・専務理事(札幌交響楽団)

石丸恭一・理事(東京フィルハーモニー交響楽団)  
大石修治・理事(神奈川フィルハーモニー管弦楽団)  
敷島鐵雄・理事(大阪交響楽団)  
張田和宏・理事(京都市交響楽団)  
山巻 毅・理事(東京都交響楽団)  
山本雅士・理事(セントラル愛知交響楽団)  
井形健児(広島交響楽団)

その他の出席者

理事長／児玉幸治、副理事長／金山茂人、田邊 稔、

常務理事／支倉二二男、理事・事務局長／吉井實行、事務局次長／桑原 浩

○首都圏オーケストラ連絡会 第367回～第376回 計10回

4月12日(金)、5月15日(水)、7月17日(水)、9月10日(火)、  
10月15日(火)、11月11日(月)、12月17日(火)、1月29日(水)、  
2月12日(水)、3月26日(水)、

○首都圏「オーケストラの日」実行委員会 計11回

6月18日(火)、7月16日(火)、8月5日(月)、10月29日(火)、  
11月19日(火)、12月16日(月)、1月28日(火)、3月3日(月)、  
3月10日(月)、3月17日(月)、3月19日(火)

#### <外部の委員会・協議会等への協力>

○公益社団法人日本芸能実演家団体協議会(以下、「芸団協」)の監事として金山茂人  
／副理事長が参加した。

○公益社団法人日本演奏連盟常任理事として吉井實行／事務局長が参加した。

○芸術家会議の常任幹事として桑原 浩／事務局次長が参加した。

○芸団協「実演振興委員会」政策部会・副部会長として支倉二二男／常務理事が参加  
した。

○「文化芸術推進フォーラム」運営委員として支倉二二男／常務理事が参加した。

○公益財団法人アフィニス文化財団の理事として支倉二二男／常務理事が参加した。

○ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭の実行委員として  
支倉二二男／常務理事が参加した。

○「日本管打楽器コンクール」運営副委員長として支倉二二男／常務理事が参加した。

○演奏家権利処理合同機構(MPN)の「クラシック委員会」委員として  
工藤真実／東京フィルハーモニー交響楽団常務理事・事務局長、  
吉井實行／事務局長が参加した。

○一般財団法人民主音楽協会2015年第17回東京国際音楽コンクール<指揮>

実行委員として桑原 浩／事務局次長が参加した。

- 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会「クラシック・コンサート・マネジメント」に関する調査研究委員として桑原 浩／事務局次長が参加した。
- 芸団協「役員候補者推薦委員会」委員長を支倉二二男／常務理事が務めた。
- アジア・太平洋地域オーケストラ連盟の事務局長を名倉真紀／マネジャーが務めた。

#### <関係団体との連携、協力>

芸団協、芸術家会議、文化芸術推進フォーラム、日本音楽芸術マネジメント学会、公益財団法人公益法人協会の会員、構成団体として参加している。

#### <関係者の受賞>

- 文化庁長官表彰 今村 晃（前 九州交響楽団・事務局長）
- 埼玉新聞 埼玉文化賞 金山茂人（副理事長、日本演奏連盟・専務理事）

#### <公益法人認定オーケストラ>

（2014年4月1日現在） 順不同

- 公益財団法人 札幌交響楽団
- 公益財団法人 NHK交響楽団
- 公益財団法人 仙台フィルハーモニー管弦楽団
- 公益財団法人 東京交響楽団
- 公益財団法人 東京都交響楽団
- 公益社団法人 広島交響楽協会（広島交響楽団）
- 公益財団法人 日本センチュリー交響楽団
- 公益財団法人 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 公益社団法人 大阪フィルハーモニー協会（大阪フィルハーモニー交響楽団）
- 公益財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団
- 公益財団法人 京都市音楽芸術文化振興財団（京都市交響楽団）
- 公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団
- 公益社団法人 山形交響楽協会（山形交響楽団）
- 公益財団法人 読売日本交響楽団
- 公益財団法人 兵庫県芸術文化協会（兵庫芸術文化センター管弦楽団）
- 公益財団法人 九州交響楽団
- 公益財団法人 石川県音楽文化振興事業団（オーケストラ・アンサンブル金沢）
- 公益財団法人 群馬交響楽団
- 公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団
- 公益財団法人 神奈川フィルハーモニー管弦楽団
- 公益財団法人 ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉

以上 21団体